

みこころに従いますか？

数週間前に友人のセルジオ・フォーテスが「コンフォートゾーン」、つまりどうとらえても自分が快適だと感じる領域についての記事を書きました。その領域は自分にとってなじみがあり、予測が可能であり、いつも自分ができること以上の努力は必要ないのです。では、あえてコンフォートゾーンから外れることを勧められたら、あなたはどう答えますか？抵抗しますか？かたくなに拒絶しますか？それともただ「できません」と返しますか？神が自分の知らない進路、例えば今までやったことがなかったり、自分にはその資格が全くないと感じている方向に導いていると感じたら、あなたはどうしますか？

このようなステップを神から語られた人がいると、私は聖書にあるたくさんの記述を思い出します。ノアは迫りくる大洪水に対して方舟を建設せよと語られました。アブラハムは聞いたこともない土地のために故郷ハランを離れるようにと語られました。モーセは400年以上も奴隷だったイスラエル人たちをエジプトから導き出すために選ばれました。イザヤは神が遣わすべき預言者を探していた時に、「私がここにおります。わたしを遣わしてください！」と答えました。そしてイエスの弟子たちは命をかけて福音をのべ伝えました。

聖書に書いてあるようなことは私たちには起きないかもしれませんが、イエス・キリストと共に歩むことを決めたクリスチャンであれば、コンフォートゾーンから出て、知らない土地ややり方で神に仕えるようにと神から語られる時が訪れるでしょう。私自身にも何度もそういったことがありました。その中で2つの出来事をご紹介します。

新聞記者として活動して10年が経った時、神は私にCBMCの出版ディレクターという道を開いてくれました。その時の私は一度も雑誌の記事や書籍を書いたことはありません

でしたが、どちらも職務説明書に記載してありました。私は期待と不安でいっぱいでした。しかもこの転職の前に神はもっと恐ろしいことを用意していました。私は400人以上の前でスピーチをすることになったのです。

私はいわゆる外向的な内気なので、個別や少人数だと快適に話すことができました。でも一度に何百人の前で話すとはどういうことでしょうか？しかしこれは神がヒューストンにある母教会の牧師を通して私にそうすべきだと語ったことでした。牧師は私に日曜礼拝の際でこれから私が行おうとしていることを手短かに話し、会衆に祈ってもらうよう提案しました。

私の初期反応は「できるわけがない！」でしたが、みんなに祈ってもらいたいと思いました。そして次第にこれは私がすべきことだと強く思うようになりました。その日曜日の朝の私は期待と不安で胸がいっぱいになりながら、スピーチの出番を待っていました。しかし壇上で私を見つめ返す人たちの顔を見た時、神がピリピ4:7の「*そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。*」を私に語られたと感じました。私の短いスピーチは驚くほどうまくいきました。神に従ったこのステップがその後様々なCBMCのイベントで講演する機会への布石だったことを証明しています。2つ目の話に移りましょう。

1999年のことでした。私はCBMCインターナショナルのスタッフで、ティム・フィルポットが理事長でした。彼はブラジルでミニストリーを再スタートする必要があると言い、それを私に任せると言いました。「なんてですか？」とわたし驚きました。私はブラジルについて何も知らないし、ポルトガル語はわからないし、しかも「ミニストリーの拡大と成長」に関しての経験はありませんでした。しかし過去の経験から、私が遣わされるその地で神が何をされるかは神ご自身がご存知だと信頼していました。

この時の旅は祝福に満ち溢れていました。そして 20 年以上前にサンパウロや、クリチバ、ヴィトリアで築いた友情は今でも続いています。このミニストーリーの歩みは思いがけない結果をもたらしました。今でも熱心なブラジル人のメンバー達が「月曜日のマナ」を数か国語に翻訳し、各国語版として文字通り世界中に送っています。これらのことはとても大事なことを教えてくれています。みこころに従って一歩を踏み出す時、神は必ず私たちの想像以上のことをしてくれるでしょう。

この発行はロバート・タマシーによって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930 年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ヘイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

もっと深めるために：

1. あなた自身のコンフォートゾーンについて教えてください。
2. 自分のコンフォートゾーンから大きく外れていたり、自分には力不足だと感じることを神から語られたことはありますか？それに対してどう答えましたか？
3. 信仰によって一歩踏み出すことがとても難しいのはなぜだと思いますか？「私には無理だ！」と思っていることを神があなたに語られている時、祈りはどう役立ちますか？
4. あなたやあなたの知り合いがみこころに従い一歩を踏み出し、その結果が「わたしたちの内に働く御力によって私たちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになり方」(エペソ 3:20) の証しになった時のことを教えてください。その影響はどのくらいありましたか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

詩篇 37:4-5、箴言 3:5-6、16:1、16:3、19:21、イザヤ 6:1-8、マタイ 28:19-20